

一番表には金箔が押されており、出来上がった当初は金色に輝いていた、弘法大師作と伝えられる千手観音様です。(最近の研究では、バーミヤン石仏との共通点が見られることから、アフガニスタンの僧侶が彫刻したものと考えられています。)

大谷寺のすぐ前の「大谷公園」には大谷石採掘場跡が残っていて、公園内には戦没者の慰霊と世界平和を願い、昭和23年から6年の歳月をかけて、全て手彫りで完成させた、高さ27mの「平和観音像」があり、その前で写真部の小駒さんに写真を取っていただきました。

次に訪ねた大谷資料館の地下は、大正8年から昭和61年まで約70年間、大谷石を掘り出してできた巨大な地下空間で、広さは20000㎡、深さは30m、壁や床に手掘り時代のツルハシのあとが残り、坑内の平均気温は8℃前後ということでした。

戦争中は地下の秘密基地（飛行機製造）、戦後は政府米の貯蔵庫、現在はコンサートや美術展などが開かれ、結婚式場としても利用されているそうです。

ここまで見てきてほぼ3時、また3時間かけての帰路の旅ですが、その間に皆様から、「楽しかった」「良かった」とお褒めの言葉をいただきました。多勢参加してくださり、拙い企画にも関わらず、無事に楽しく旅を終わることが出来たのは、皆様のご協力の賜物です。ありがとうございました。

晩酌、美味しかったです。